

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48' 40"		
				経度	137° 27' 06"		
滝越橋 (フリガナ)タキゴシバシ		村道第24号線	王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
王滝村	2016.11.27	河川	無	一般道	その他	上水道-王滝村	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			株式会社 長野技研		点検責任者		吉原潤一	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	II	床版ひびわれ	径間3 床版 03 写真-65				
下部構造		I						
支承部		II	ナットの緩み	径間3 支承 0101 写真-71				
その他		II	排水装置:土砂詰り	径間3 排水装置102 写真82				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) 床版ひびわれ、支承部のナット緩み、排水装置に土砂詰りが生じている。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971年	75m	4.0m

終点側



起点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	支承部【判定区分: Ⅱ】
<p>写真 65</p>  <p>径間3 床版03 床版ひびわれ</p>	<p>写真 71</p>  <p>径間3 支承0101 ナットの緩み</p>
その他(排水装置)【判定区分: Ⅱ】	【判定区分: 】
<p>写真 82</p>  <p>径間3 排水装置102 土砂詰り</p>	